

# 安全活動の取組み①

## ～新規入場教育の見える化～

### 過去の失敗を語り継ぐ



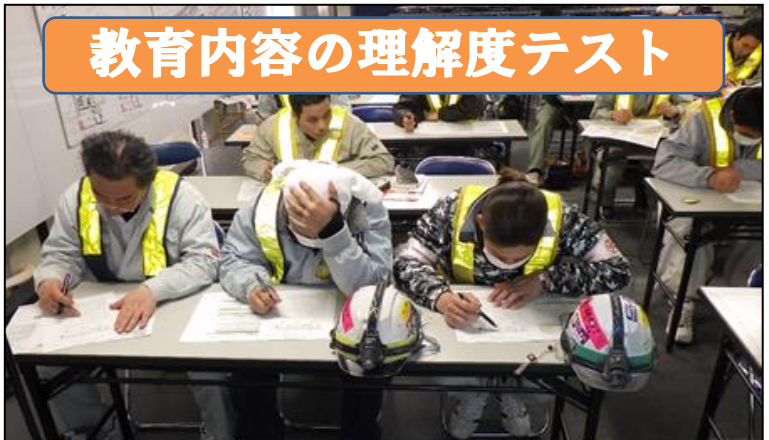
「トローリー線に機材を接触させた事象」を風化させない為に「写真」や「接触させた現物」を用いて周知。感電の恐ろしさを語り継ぐ。

### 事業主にも意識向上のOJT



事業主が実際の作業環境・特性を知らないと送り出し教育ができないので、実際の作業の流れを現地で説明し、見て理解してもらう。(主に夜間の線閉・停電作業の流れ)

### 教育内容の理解度テスト



新規入場教育で説明した内容の確認テストを行い、最後に解説をして、理解を高める。

線閉・停電間合い作業 理解度確認テスト

(作業員) (班長)

■以下の問題について、正しい記述には○を、不適切な記述には×を、それぞれ記入しなさい。  
 ※上記の中で□は作業範囲を示しており、資格料を含めこの範囲内からは出ないものとする。

- ①作業Aの範囲は、1番線と2番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ②作業Bの範囲は、2番線と3番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ③作業Cの範囲は、1番線と2番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ④作業Dの範囲は、1番線の線間間合いをまたいで、2番線と3番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ⑤作業E(上部架材)は、1番線と2番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ⑥作業F(上部架材)は、1番線と2番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ⑦作業Gの範囲は、2番線と3番線の線間間合いにて作業可能である。 ( )
- ⑧作業員Aの連絡を受けているが、両側の作業員が線路上に降りたので、線路に降りた。 ( )
- ⑨作業員Bの連絡を受けているが、両側の作業員から降電を受けたので、降電作業を中止した。 ( )
- ⑩線路が完成し、線路内の確認をする事になったので、線路に降りて確認をした。 ( )
- ⑪停電間合い(作業E)は(上部架材)から線路を覗き下ろしているが、送電線が降電したため、やむを得ず降電線降電後にロープに頼りながら線路を作業員に引き上げた。 ( )
- ⑫降電線確認、トローリー線にシートが引かれていたが、まだ線閉間合いであったため、線路上にシートを引っ張ってはずした。 ( )

線閉・停電作業の範囲等理解できているか、確認できるテスト